【平成 26 年度】

統計研修講義計画書

研修課程	政策と統計	講義ﾃｰﾏ	「政策評価と統計」 一行政における政策評価とはなにか？客観的評価ってあるの？評価するだけで終わり？ 一統計は、本当に政策評価に役立つの？	講義時間	２コマ
講　　師	伊藤　孝雄　総務省政策統括官（統計基準担当）付国際統計研究官				

講義のねらい

行政における政策評価とはなにか？政策評価における統計の役割と限界を理解した上で、必要な考え方、知識を身につけてもらい、今後の公務への取組の参考としてもらう。

指導項目と内容

指 導 項 目	内　　容
１　なぜ、今、評価なのか？	・政策評価が言われる背景について説明
２　評価とはなにか？	・様々な評価、評価の多様性について説明 ・人は生活の様々な局面において評価を繰り返す。 ・唯一無二の絶対的な方法はない。
３　よりよい評価、真実に迫る評価とはなにか？	・評価の５W２H、YTT ・何のために評価するの？評価の結果はどのように使うの？ ・評価と価値観
４　評価に関する重要な問題	・評価と評価基準、・ 評価と結果 ・ 評価だけでは、不十分、次に生かす。 ・評価者の立場の違いとそれぞれの役割
５．政策評価における統計の役割	・統計は政策評価に役立つか？YES or NO? ・統計は正しく過去、現状、未来を示すか？ ・統計は問題の原因、解決策を示すか？ ・正しいデータの取得、活用のためには、利用しようとする統計に対する正しい理解と、分析、解釈が必要。時には、政策評価のための統計的手法の利用も重要。
６．最後に	・正しく現状を把握する努力、多面的、相対的に把握・理解する力、解決策を見いだす力、それぞれの立場で改善に取り組む姿勢を期待。

講義形態 指導方法	受講者への質問、考えの聴取、解説の繰り返しによる質疑応答説明方式
受講に必要な 基 礎 知 識 等	政府統計に関する基礎的知識、政策評価については自分なりの考え、イメージ 公務における自分の役割と政策評価の関係について考えておくこと。